

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 利用者一人ひとりが町内会に入会しており、掃除やその他行事に積極的に参加、交流できている。また、地域包括支援センターの協力のもと、認知症サポーター養成講座の開催を行い、認知症理解のための活動を行うことで地域へ貢献している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2～3ヶ月に1回開催しているが、過去1年間は都合により中止になった月もあり5回の開催であった。会議では利用者、家族、職員、管理者と町内会長、民生委員、地域の介護支援専門員、主治医が参加し、事業所の取り組み、災害対策、家族からの意見交換と検討を行うなど、効果的な会議ができている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 介護認定の代行申請の際、区役所の福祉課窓口に出向き、情報交換、連携を図っていることと、民生課との連絡、報告、相談もできている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 個人の記録物、請求書、会議録の内容など家族には月に1回報告を行っている。敬老会やお祭りの際、家族会も同時に開催し年に2回以上はできている。また運営推進会議で出された意見、要望を検討し改善に向けて取り組んでいる状況である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者一人ひとりを家族の一員としてまた地域の一員として大事にしており、交流に受身にならず、積極的に地域の中にとけ込んでいけるよう働きかけている。その他、認知症に関する講座の開催やミュージックベルの演奏など地域貢献や事業所のアピールも十分にできている。家族との交流、信頼関係もよく、家族アンケートでは感謝の言葉が多く、利用者、家族の満足度の高いホームである。

- 外部評価軽減要件
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
  - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
  - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
  - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。